

(第6号決議事項)第15条第7項に基づく2026年度年間事業計画の件

(第7号決議事項)第15条第8項に基づく2026年度予算の件

インパクト志向金融宣言

2026年度 事業計画・予算案

2026年4月 総会向け資料

インパクト志向金融宣言

Japan Impact-driven Financing Initiative

2025年計画に対する振り返り

全体方針

評価

宣言の大方針アップデート

・コンテンツ運営委員会で議論・集約し、次期中期計画を策定する

● 中期計画策定完了

インパクト関連情報・データ整備

・地域金融分科会にてPIF調査発表
・コンソと連携し、推進していく

● PIF調査、S指標、エンゲージメント等
作成発信

人材育成に関する議論の深化・計画策定

・人材育成の議論をすすめパイロットを実施する

● 詳細な調査を実施、方向性が
明確に

インパクト大賞の検討

・目的・対象・内容等に関する検討を進める

● 未実施

インパクト関係情報発信のさらなる強化

・書籍を出版し、活用していく
・どのターゲットに何を発信するか検討していく

● ブログ・LinkedIn開始 より詳細な発信は今後の課題

自走を軌道に乗せる

・分科会の運営リソース不足に対処する
・自走化を軌道に乗せ、コンプラ含め整備する

● 依然として課題。
自走化は一定軌道に乗る

他のプラットフォームとの戦略的連携

・引き続き検討し、具体的連携を進める

● GPIFとの意見交換実施。個別の連携はあるが具体的連携には至らず

戦略的エンゲージメントの取り組み強化

・ELTを実施する

● 2月に実施済

IDFIのTheory Of Change (概要版)

中期計画抜粋

ビジョン: 金融機関が扱う資金の流れを可能な限りインパクト志向へと変革させ、
環境・社会課題を自律的に解決しうる持続的な資金循環を生みだしていく

アプローチ

(巻き込むステークホルダーと起こしたい行動変容)

現状課題

インパクト志向の
浸透が限定的

インパクト投資の定義の
曖昧さ・多様化による
ウォッシュの懸念

個社レベルのインパクト
投資の限界

①インパクト志向へ変革することへの納得感の醸成

- プレイヤーごとの行動変容のドライバーへのアプローチ
 - メインストリームの投資家やVCにおけるインパクト創出と企業価値の関係性の明確化
 - アセットオーナーにおけるシステムレベルリスクの理解浸透
 - 個人(消費者)における社会的アウトカムの可視化・等

②インパクトファイナンスの定義の拡大と質の引き上げ

- 広義を含むインパクトファイナンスの類型化と実践ガイドの整備による新規参加者の巻き込み
- IMMの先進企業の事例共有・形式知化による質の引き上げ

③社会・環境課題を軸としたアセットクラス横断の連携強化

- 社会・環境課題を軸としたアセットクラス横断のファイナンススキームの確立と事例創出(多様なアセットクラス、公的機関や非営利団体などの巻き込み)

アウトカム

裾野の拡大

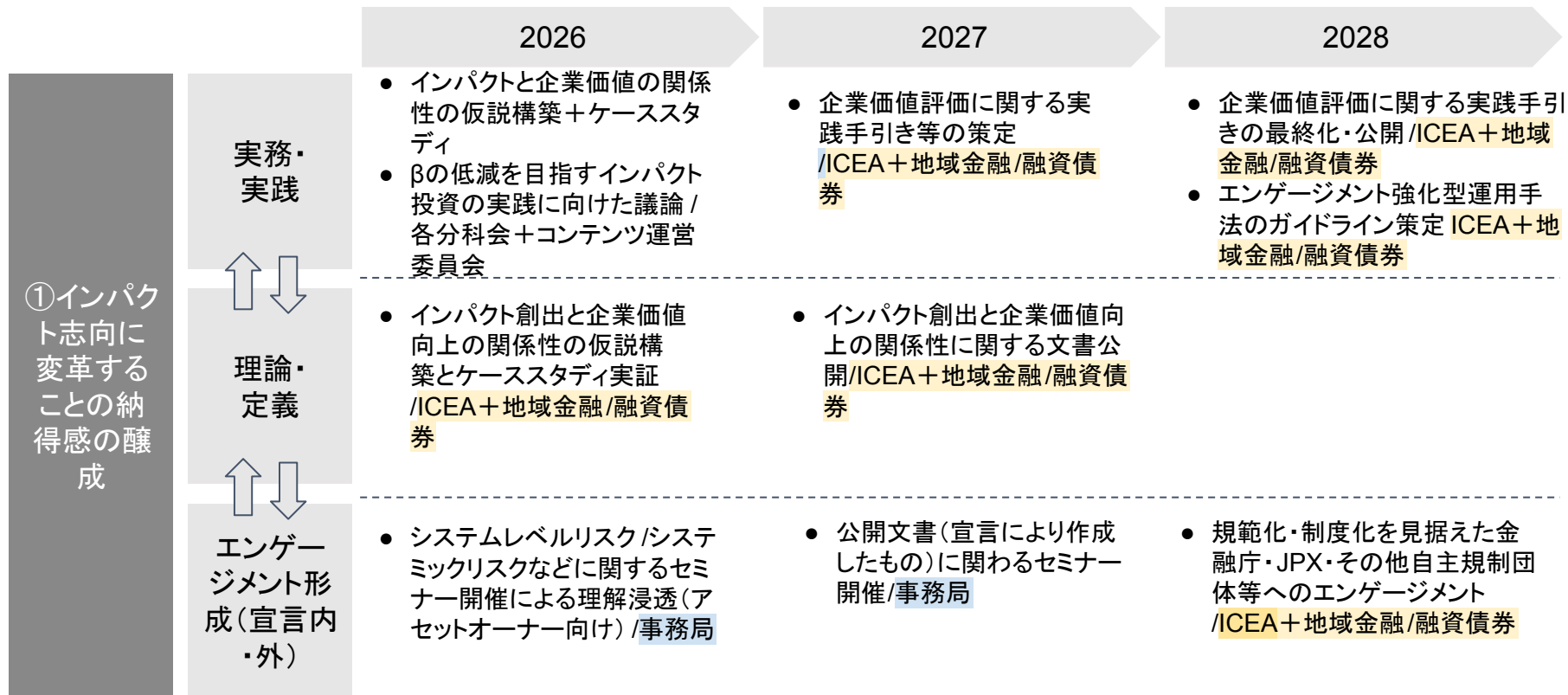
IMM/情報開示・
対話の高度化

社会・環境課題
解決の加速化

中期計画(1/3)

※(前提)分科会の動きと連動しながらリソースの問題なども踏まえて適宜アップデートしていく

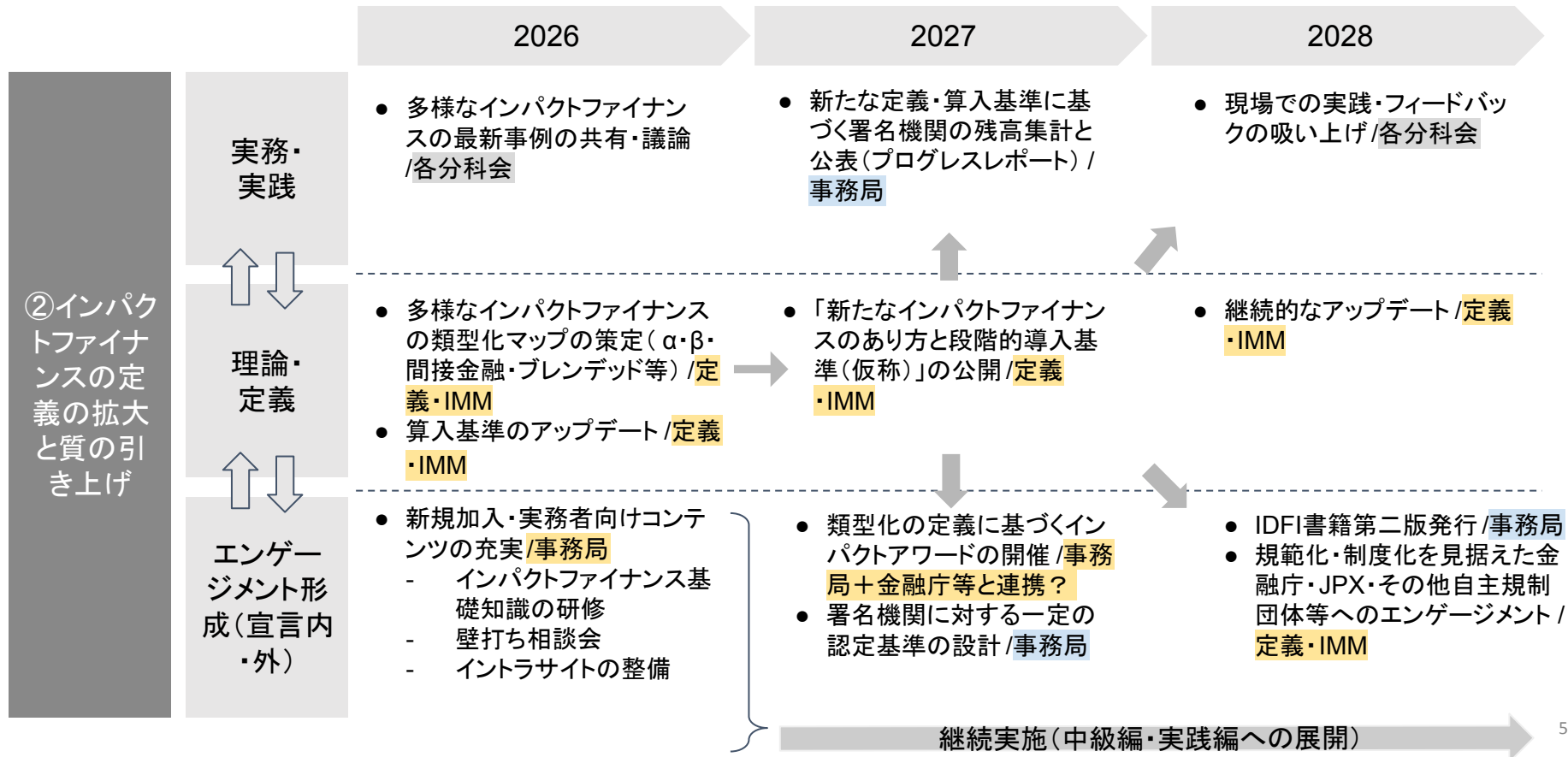
中期計画抜粋



中期計画(2/3)

※(前提)分科会の動きと連動しながらリソースの問題なども踏まえて適宜アップデートしていく

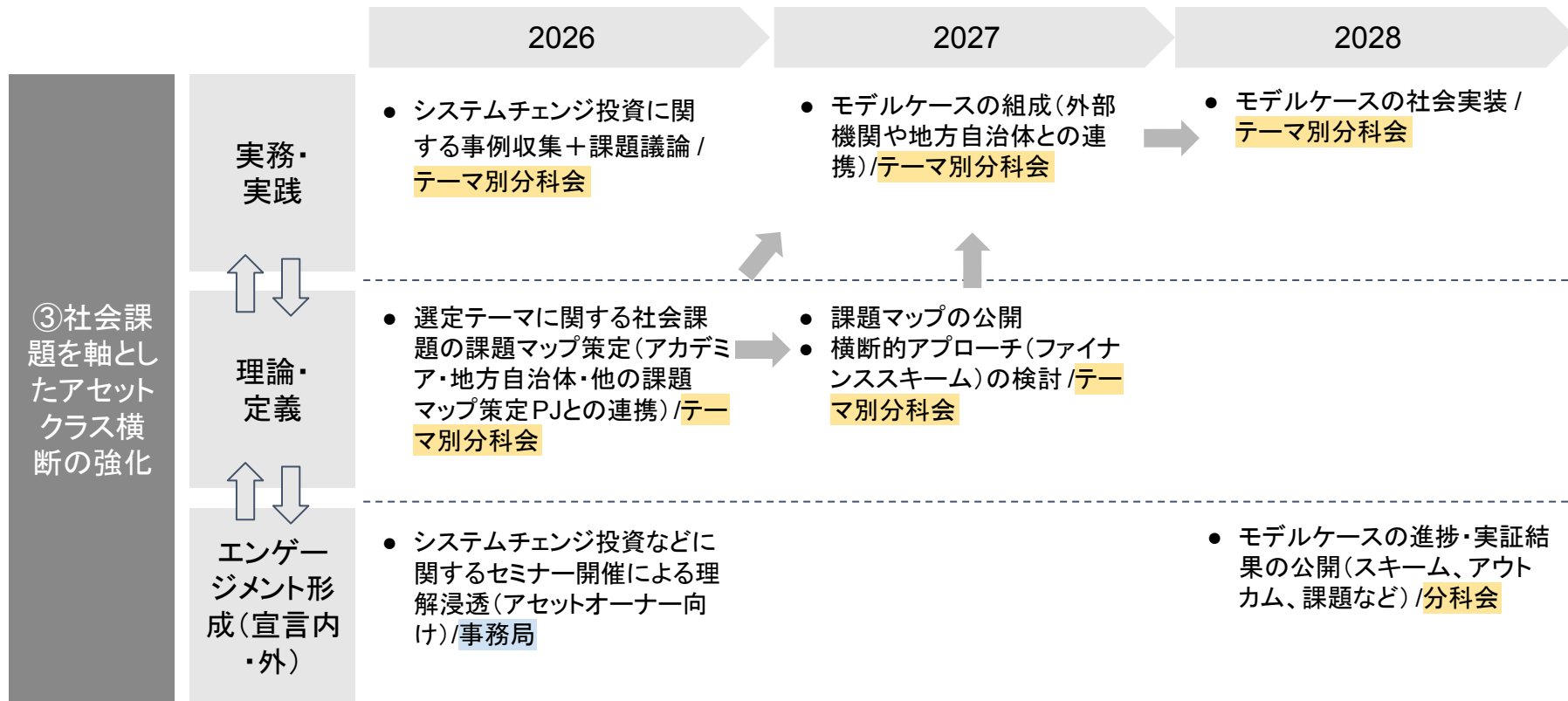
中期計画抜粋



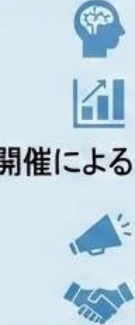


中期計画(3/3)

※(前提)分科会の動きと連動しながらリソースの問題なども踏まえて適宜アップデートしていく




中期計画抜粋



2026年度 全体年度計画

主要テーマ	活動	実施主体
①インパクト志向 に変革することの 納得感の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ● インパクトと企業価値の関係性の仮説構築+CaseStudy ● βの低減を目指すインパクト投資の実践に向けた議論 ● 発信の強化 <ul style="list-style-type: none"> - 5周年記念カンファレンスの実施 - システムレベルリスク/システミックリスクなどに関するセミナー開催による理解浸透(アセットオーナー向け) - 公開文書(宣言により作成したもの)に関わるセミナー開催 ● 若手・実務者向け企画の実施 ● 金融庁・JPX・その他自主規制団体等へのエンゲージメント 	 <ul style="list-style-type: none"> ● ICEA ● AOAM/地域金融分科会 ● 事務局/各分科会 ● 運営委員会/事務局
②インパクトファイ ナンスの定義の拡 大と貫の引き上げ	<ul style="list-style-type: none"> ● 算入基準のアップデートと残高調査実施 ● 新規加入・実務者向けコンテンツの充実 <ul style="list-style-type: none"> - インパクトファイナンス基礎知識の研修 - 壁打ち相談会 - イントラサイトの整備 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 枠組み検討会 ● 事務局
③社会課題を軸と したアセットクラス 横断の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● システムチェンジ投資に関する事例収集+課題議論+視察実施 ● システムチェンジ投資などに関するセミナー開催 ● 横断的アプローチ(ファイナンススキーム)の探索 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 事務局/AOAM/地域金融分科会 ● 事務局

事務局の運営基盤に関する年度計画

主要テーマ	活動	成果物
運営・ガバナンス	<p>【自走化後基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 会員名簿の管理ツールを導入 <p>【ガバナンス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 活動に伴って必要となる運営規程・規則の継続的改訂・整備 ● 適切な予算・執行管理 ● 法人化の検討着手？ 	 <ul style="list-style-type: none"> ● CRM簡易ツール導入 ● 運営規程・規則 ● 運営委員会での適切な報告
	<p>【内部向けエンゲージメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 情報共有基盤の整備・運用 ● 新規参加者・新規担当者向けプログラムの実施 ● 署名機関の要望吸い上げ・対応(署名機関エンゲージメント) 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 内部ウェブサイトの充実 ● プログラム実施 ● 定期的なヒアリング/サーベイ実施
【広報】	<ul style="list-style-type: none"> ● 発信活動の強化 ● イベント実施 ● メディアリレーション強化 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 発信数他 ● 参加者数・フィードバックアンケート他 ● 記事数

費目	暫定予算 (円)	備考
想定収入	49,430,000	
年会費 (a)	30,430,000	
繰越金 (b)	19,000,000	
プロフェッショナルスタッフ人件費(業務委託)	15,600,000	経営諮問・評価委員会の審議結果に基づき決定。
事務局スタッフ人件費(業務委託)	5,360,128	経営諮問・評価委員会の審議結果に基づき決定。
分科会費用	6,000,000	各分科会100万円
プログレスレポート作成費用	2,000,000	
ウェブサイト維持費用	100,000	
通信費/ウェブ維持費用 (ZOOM, GoogleWorkplace、サ	575,000	Zoom 30万円、GoogleWorkplace15万円、サーバー1.5万円、電話代1万円
消耗品費	200,000	
旅費交通費-近距離交通費	50,000	
支払手数料-銀行振込手数料	27,720	330円/回x7回x12か月
研修実施：外部委託費用	5,000,000	既存の研修ツール一覧、基本的な動画作成、ワークショップ等を想定
ウェブサイト改修費用：外部委託費用	1,000,000	
CRM導入支援：外部委託費用	2,000,000	
5周年コンファレンス 成果物作成費用	1,000,000	
イベントサポート経費	500,000	
その他調査費 (業務委託費)	1,000,000	
予備費	1,000,000	
繰越金	8,017,152	
合計	49,430,000	

(参考)2025年度予算

				4月時点想定	差分		
想定収入	30,065,000			27,630,000	2,435,000		
既入金済会費	28,331,000						
未受領会費	1,050,000	JCR/商工中金					
印税収入	684,000						
費目	修正予算 (円)	残額	8月末実績	当初予算 (円)	説明	1月時点想定	
プロフェッショナルスタッフ人件費(業務委託)	9,654,000	6,860,750	2,793,250	9,654,000		11,000,000	
事務局スタッフ人件費(業務委託)	5,346,000	3,122,972	2,223,028	5,346,000	* 署名機関数増加、会費管理・契約管理増加(業務量一定量増加を想定)	4,000,000	
外部委託費用	3,000,000	3,000,000	0	3,000,000	*年度後半に研修事業実施を想定	3,000,000	
プログレスレポート作成費用	2,500,000	2,500,000	0	2,500,000	*昨年より制作費用を削減を想定	2,500,000	
ウェブサイト維持費用	200,000	200,000	0	200,000		200,000	
ウェブサイトコンテンツ作成/コンテンツ修正/掲載費用	700,000	700,000	0	700,000	*コンテンツを新規作成し発信を想定	700,000	
IT関係(オンライン会議提供サービス、サーバー等)	400,000	172,229	127,771	300,000	*これまではSIIFが負担	300,000	
分科会制作物作成費用	1,000,000	547,000	253,000	800,000	*20万x4		
イベントサポート経費	600,000	597,453	2,547	600,000	当日受付・セットアップ等のサポート費用(2万円x2x15回)		
消耗品費	100,000	(23,610)	23,610				
支払報酬料-原稿料	20,000	(20,000)	20,000				
旅費交通費-近距離交通費	50,000	(13,782)	13,782				
支払手数料-銀行振込手数料	20,000	(6,765)	6,765				
調査費 (業務委託費)	150,000						
予備費	6,325,000			4,530,000		600,000	
	30,065,000	17,636,247	5,463,753	27,630,000		22,300,000	
	黒字:変更なし						
	青字:修正あり						
別会計 (イベント開催)							
(収入) 受領協賛金		573,620					
支出 支払会費(JOI)		360,000					
イベント関連経費 (JOI)		213,620					
		0					